

図書館通信 9月号



教室掲示
県立土浦湖北高校図書館

新しい季節、新しい本に出会おう。

夏休みが明けてもまだまだ暑い日が続いていますが、
少しずつ秋を感じることも増えてくる時期になりました。
「読書の秋」のはじまりに、お気に入りの1冊を探してみませんか？



9月に読む一冊
見つけられますように

「秋灯や ページをめくる 音ひとつ」「グラウンド 駆ける背中や 秋の風」

部活に勉強に、有意義に過ごしましょう！

— 図書館からのメッセージ

◆ 図書館利用案内

開館時間

平日：8:30～16:45

長期休業中：8:30～16:00

本の借り方

借りたい本をカウンターへ → バーコードで手続き
貸出冊数：1回 5冊まで 貸出期間：2週間

◇ 本のリクエスト随時受付中 ※コミック類はリクエスト停止中です。

◆ 図書委員のおすすめ本

夏川草介『エピクロスの処方箋』（水鈴社）

本屋大賞ノミネートなどで大きな話題を呼んだ『スピノザの診察室』の待望の続編です（本作からでも楽しめます）。京都の地域医療を舞台に、現役医師である著者が「幸福に生きるとは何か」「孤独に寄り添うとはどういうことか」を哲学的な問いとともに温かく紡ぎ出します。

勉強や将来の進路、人間関係に悩み、ちょっと心が疲れてしまったとき、この本は優しく心に寄り添う「処方箋」になってくれます。

静かな秋の夜、自分自身のこれからをゆっくり見つめ直すのにぴったりな優しく深い名作です。



ジョナサン・ハイト『不安の世代—スマホ・SNSが子どもと若者の心を蝕む理由』（草思社）

「スマホが普及した2010年代以降、なぜ世界中で10代のうつや不安症が急増したのか」という点を、膨大なデータとともに解き明かしていきます。SNSの「イケてる写真」を見て自己評価を下げてしまう心理や、ゲームやネットの世界にのめり込んで現実の挑戦を避けてしまう仕組みなど、思わず「自分のことのように……」とドキッとする分析が満載です画面から離れてリアルな生活習慣や人間関係を取り戻すための、強力な引き金になってくれる一冊です。

